

情報 正解と配点・採点基準

第1問 共通問題 (30点)

問1 (10点) 分数の形では点を与えないが、累乗の形なら点を与える。

- (1) 10^4 あるいは10000 (3点)
- 「種類」があっても減点せず。
 - 「1万」、「1万種類」も正解とする。
- (2) 10^4 あるいは10000 (3点)
- 「倍」があっても減点せず。
 - 「1万」、「1万倍」も正解とする。
- (3) 4^8 あるいは65536 (4点)
- 「倍」があっても減点せず。

問2 (13点)

- (1) インターネットに関する内容なら、どれでも正解。例えば、「ネット接続」や、「ネットに接続するための装置」など。(4点)

正解とした具体例

- 「サーバとの接続」、「記録する機能」、「ネット」、「インターネット」、「インターネット環境」、「インターネット回線」

不正解とした具体例

- 「アカウント」、「送り主の名前」、「アドレス」、「メールアドレス」、「パソコン」

- (2) 文字入力に関連する内容なら、どれでも正解。例えば、「文字」、「仮名漢字変換ソフト」、「キーボード(ソフトウェアキーボードも含まれるので、OK)」など。ただし、「文字コード」は、dでURLとして用いているので、不正解。同様に、「フォント」も不正

解。(4点)

正解とした具体例

- 「文章力」、「文字の出力機能」、「文字の送信」、「キーボード入力」

不正解とした具体例

- 「入力」、「あて先」、「アドレス」、「ユーザ名」、「名前」、「携帯電話」、「テレビ」、「パソコン」、「個人情報」、「ブログ」、「メールサーバ」

- (3) 「1対多の伝達」であることを15文字以内で述べていれば正解。(5点)

正解とした具体例

- 個人との通信か世界との通信か
- 個人に伝わるか大人数に伝わるか
- 公衆がその情報を得られるか
- 世界中の人に見られるかどうか
- 特定できる個人宛てかどうか
- 情報のあて先が個人であるかどうか
- 送る相手が単体か全体かの違い
- 個人かその他の大衆とのやりとりか
- 個人か大人数とのやりとりかの違い
- 一対一と一対多でのやり取り
- 不特定多数に見られるかどうか
- 相手が不特定多数であるかどうか
- 相手が限定できるかどうか
- 相手が特定できるかどうか

部分点(2/5)とした具体例

- 情報の見える範囲
(どのように違うか示していない)
- 情報が伝わる範囲が違う
(どのように伝わるか示していない)
- その情報を見られる人の人数が違う
(どのように違うか示していない)

- 個々で行うもの
(何を個々で行うのか、また、他方が
どうなのか示していない)
- 1つのものと複数のもの
(何が1つで何が複数か不明瞭)

不正解とした具体例

- 受け取る相手が必要
- 瞬時に相手と相互通信が可能な点
- リアルタイムな伝達ができるかどうか
- 相手とのやり取りができるか
- 人からするのとされるのの違い
- 自分が発信元かどうか
- 知っている人と関われるかどうか
- 相手に必ず確認してもらう

問3 イ(7点)

第2問 情報の科学(35点)

問1 (7点)

$$6000 + 1500 + 3000 = 10500 \text{ ポイント}$$

問2～問5(各2点、合計28点)

- (1) ウ 出発地
- (2) オ 区間ポイント
- (3) コ 会員種別獲得要件
- (4) シ 会員種別によるボーナスポイント率
- (5) キ 会員ID
- (6) ス 利用クラスID
- (7) ス 利用クラスID
- (8) サ 利用クラスによるボーナスポイント率
- (9) キ 会員ID
- (10) イ 区間ID
- (11) オ 区間ポイント
- (12) ク 会員種別ID
- (13) シ 会員種別によるボーナスポイント率
- (14) サ 利用クラスによるボーナスポイント率

第3問 社会と情報(35点)

問1 (5点) ウ 震源に近い観測機器で、ある規模以上の地震波が観測できたら、警報を出す。

問2 (各4点、合計8点)(順不同)

ア コンピュータの発達により、地震発生と同時に規模を迅速に判断できるようになった

オ コンピュータネットワークが普及して遠隔地の情報をリアルタイムに伝送可能となった

問3 (各4点、合計8点) 次の2つ

- ・火を消して机の下など安全な場所に身を隠す
- ・新幹線を緊急停止させる

採点基準 文中には「火を消す」、「身を隠す」、「新幹線緊急停止」の3点が書かれていると判断した生徒が多かったようで、採点の段階では模範解答を次の3つに分解し、該当する事項を指摘している場合に4点ずつ与えた。

- 火を消す
- 机の下など安全な場所に身を隠す
- 新幹線を緊急停止させる

「新幹線の緊急停止」については、「鉄道会社と連携する」「列車を自動停止させる」といった別解があったが、「文中に書いてある」を満たしていないので2点を与えた。

問 4 (7点) 誤報による混乱より、大地震が起きた際に被害を軽減できることの方が重要だから。

採点基準

- 誤報による混乱より (3点)
- 大地震が起きた際の被害を軽減できることの方が (2点)
- 重要だから (2点)

「誤報による混乱よりも」という趣旨のことが書かれていれば3点満点だが、誤報だけを指摘している場合には2点を与えた。

「大地震が起きた際の被害を軽減」という趣旨のことが書かれていれば2点満点だが、「人が死ななくて済む」や「避難できる」といった限定的な状況改善のみを指摘している場合には1点を与えた。また、この項目については、「防災意識を高める」といった出題者が想定していなかった解答があり、これについては妥当なものだと判断できる場合には最高で2点を与えた。

論旨として「しないよりもマシ」という趣旨の作文ができていれば、2点を満点として、日本語としての出来や記述量から点数を与えた。

問 5 (7点) 地震の発生を感知してから大きな揺れが到来するまでの時間が極めて短いから。

採点基準

- 地震の発生を感知してから (1点)
- 大きな揺れが到来する (1点)
- までの時間が極めて短い (3点)
- という理由から。(日本語:2点)

「地震の発生を感知してから」という趣旨のことが書かれていれば1点を与えた。「大きな揺れが到来する」という趣旨のことが書かれていれば1点を与えた。「時間が短い」という趣旨のことが書かれていれば満点を3点として点を与えた。以上で内容点が5点満点となるが、次のような趣旨の回答例があり、内容点としてカッコ内の点数を与えた。

- (専門家による) 分析や解析の時間がない (本文中に記述されているので単なる国語的な解答なので1点)
- すぐ来るので分析できない (何がすぐなのか不明なので「時間が短い」の部分点として1点)
- コンピュータが判断すれば人為的なミスを防げる (想定外。1点)
- 人が24時間張り付いて判断するのは不可能 (想定外。1点)

日本語点としては、理由付けとしての論旨が首尾一貫しているかという点(日本語としては成立していても、支離滅裂なことを書いていれば0点、一貫性があれば2点)と、分量(半分程度なら1点減点)、誤字脱字(1点減点)として評価した。